SRI BUSINESS INTELLIGENCE CONSULTING
An SRI International Business Partner

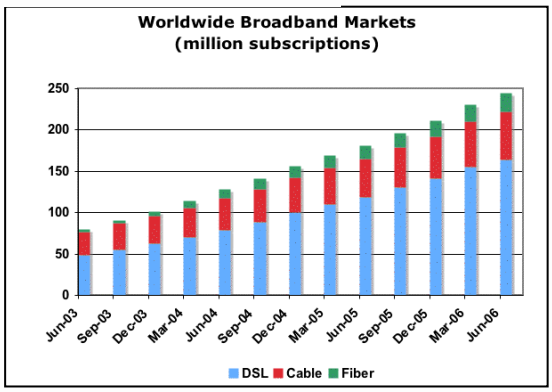
FUTURE SQUARE

フューチャー・スクエア

〒102-0082　東京都千代田区一番町 2 ﾊﾟｰｸｻｲﾄﾞﾊｳｽ 3 階　電話:03-3222-6501　FAX:03-3222-6508
URL: http://www.tokyo.sric-bi.com　　発行責任者:土谷庫夫

No.79　　2007.03.09

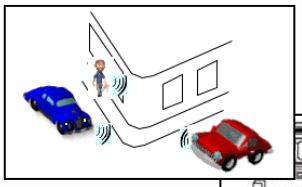
ネットワークに接続されて生きる未来
Connected Life の商業的展望

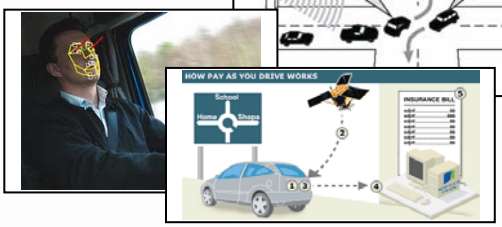


好むと好まざるとに関わらず、私たちの生活は、短距離から長距離のワイヤレス接続技術と、インターネットなどのインフラの充実を受けて、ネットワークと頻繁に接続することを前提としたものに変化してきている。この状態はまさにConnected Lifeと表現するに相応しい生活形態として捕らえることができるだろう。Connected Life の進展は、エレクトロニクスの技術革新を伴って進行し、家や車といった生活基盤とその利用方法に大きな変化の予兆が見られるようになってきており、広い産業界に新しい競争が生じ始めている。

広がる期待

Connected Cars: 自動車業界を中心とした領域では、これまでもテレマティクスとして運転者や同乗者の利便性や、安全性、娯楽や情報へのアクセス、車外の人々との繋がりを向上させる試みが行われている。それらの試みは、既に一部商用化されてきており、近い将来車外の環境に対して適切に反応する自動駐車やスマート・クルーズ、車内に持ち込む各種の携帯機器とのシナジー、携帯電話、ワイヤレス LAN、WiMax などの携帯広帯域サービス、アドホックな車両間通信、Bluetooth など、車同士や車と外界が繋がることにより、様々なアプリケーションが創出されていくことが期待されている。

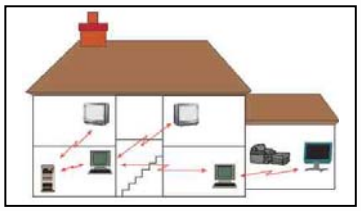




より安全で快適な都市交通システム構築の未来には、車間の通信によりドライバーは、いち早く交通渋滞や路面状況の情報を得、スマート道路標識や道路上のその他のインフラにより、霧の中や曲がり角の向こう側にいる歩行者の姿を認識したり、ナビゲーションシステムが複雑な標識を解釈し、ドライバーに対して「ここには30分間駐車できます」「今すぐ車線変更せよ!」などということを音声で伝えてくれたりするようなインフラや、サービスが登場する可能性もある。

メンテナンスの分野では、ワイヤレス診断システムにより、修理工場では、走行中の車の異常情報を入手し、顧客が来店する前に必要な準備を整えて待つなどということも可能になることも考えられるだけではなく、そのトラブルが発生する前に、ソフトウェアを自動更新し、未然に修理することすら考えられるだろう。

Connected Homes: 車と並んで、Connected Life のもう一つの重要な競争市場である家庭。そこには、ホームネットワークと言う古典的なアプリケーションの集合体がある。ホームネットワークは、まさしく相互接続されたデバイスの集合体と定義され、エンターテイメント、家電の自動化、支払処理、家族のコミュニケーションなど、家庭内ユーザーの様々なタスクを支援する。既に、何百万という家庭に Wi-Fi が普及しており、一つのブロードバンドインターネット接続を家族で共有する形態は一般化している。先進的ユーザーの中には、PC に保存した映画を他の居室の TV で観るだけでなく、自分の家以外の場所からアクセスして視聴するものも現れている。携帯型リモコンを使って温度や照明を調整したり、窓のブラインドを操作したりする人たちも現れている。ブロードバンドに接続されたホームシアターは、単に映画やドラマの観賞用として供されるだけではなく、オンデマンドのホームショッピングやテレビショッピングを可能にする場としても定義され始めている。車同様、いろいろな技術要素が新たに統合されることにより、多くのベネフィットをユーザーに提供できる可能性が増していく。



行く手を阻む数々の障害

過去何十年かの間にホームネットワークに関連する技術が飛躍的に進歩し、ようやくマスの市場が立ち上がってきたため、周囲が色めき立つのも無理はない。しかし、大きな夢を語ることはできても、そこに大きな障害があるのも、また現実である。今日のホームネットワークは、PC や PC の周辺機器に支配されており、ホームネットワークに他の種類のデバイス、例えばテレビ、ステレオ、電話、家電などが、どれだけ速く組み込まれていくのか予測するのは、容易なことではない。エンターテイメント・アプリケーションに対する顕在化した需要に比べ、家電のネットワーク化や室内環境の制御を期待する将来需要がどの程度の規模に育つのかも予測しがたい。Connected Life が進展する社会では、デジタル化されたコンテンツがさらに自由に行き来する傾向を強めていくことが予想され、著作権保護の問題は、個人生活のさまざまなシーンと絡み合いながら今後益々複雑化していくことだろう。

一方、Connected Cars に目を向けてみると、従来からワイヤレス産業の短い商品デザインサイクルは、自動車産業の長い商品デザインサイクルとは相容れず、車載技術となったときには既に古い技術になってしまう現実がある。そのため、メーカーが新しい通信機能を搭載しようとする企ては、何度も裏切られてきた。また高度な安全性に対する保証もこの分野の市場開発には欠かせない観点である。そのうえ、地域や文化的な差異や国家間の規制の違いにより、コストに見合った数量を目指す生産計画は立て難い。また、運転者は車種やブランド、車載エレクトロニクスやポータブル電子機器を選ばないプラグ・アンド・プレイソリューションを求めている。したがって互換性向上は市場開発にとって重要なキーワードとなるが、車メーカーやエレクトロニクスメーカー、ネットワークサービスなどのブランドの垣根を越すことはとても難しいのが現状である。Connected Homes の将来を語る際にも、互換性を巡るメーカー間の確執など、同様の障害が存在する。

技術市場ではよく見られることだが、必ずしも最も先進的な技術を持つものが勝者になるとは限らない。むしろ、勝者は顧客に値打ちのある価値を提供するコスト性能の「スイートスポット」を見つけ出そうとする。この分野に参入している者は、華々しい技術開発競争のみに目を奪われるのではなく、どの市場が、どういった特定のベネフィットを提供して立ち上がるのかなど、「技術の先進性がどういう価値に変換されているのか」ということに十分な関心をもって情報を整理する必要がある。

Connected Life の時代は、今まさに花開こうとしていることに間違いはない。大きな変化の風を順風として受けようとするならば、大局的な市場構造の認識と、継続した変化の観察が必須となろう。

Explorer 分野追加のお知らせ

上述のように想定される大きな障害を考えても、また事業環境にどんな変化があろうとも、Connected Life の方向性は、確かに新しい市場を創出し、人々の生活を変える力を持っています。
弊社では、単なるアプリケーションの羅列や、メーカーが期待する技術ロードマップの焼き写しではなく、「技術が進展しなければならない理由」を「その技術を必要とする市場の状況分析」に求め、生きた市場発展として捉えていこうと考え、このたび会員制情報コンサルティングプログラム **Explorer** に ***Connected Homes*** と ***Connected Cars*** を追加しました。

ソフトウェア業界を中心に、革新的なアイディアのリソースを従来ビジネスの垣根を越えて、一般のユーザーにも求めるため、自らリソース取り込みのための仕組みを構築する動きも加速しています。新しい時代を作っていく市場開発は、新しいビジネスモデルの構築を伴って進行するのが当然であり、市場に参入している企業は競争優位を獲得するため、開発姿勢そのものにもメスを入れる必要が生じる可能性を想定しなければなりません。そのため、このプログラムでは、会員の皆様がそれぞれ市場における立場を考慮しながら、社内の議論を活性化できるよう、ひとつのアプリケーション領域の技術開発が、どのようなバリューチェーンの中で展開しているかを説明する章を設け、当該分野で試されている新しいビジネスモデルについても積極的に言及して行きたいと考えています。

ここ数ヶ月に取り上げてきた月刊誌 Viewpoints の主な話題は、以下のとおりです。

- 映画のダウンロードと録画のハードウェアとビジネスモデル
- エネルギーおよび環境懸念：ホームネットワーク市場の潜在的促進要因
- 家庭におけるイーヘルスのソリューション
- iPod のような成功を実現する可能性のあるホームシアター製品
- 今や世界で最も成長が進む米国の FTTH 市場

プログラムの詳細、サンプルページなどのご希望がございましたら、是非お問い合わせください。

【お問い合わせ・詳細資料の請求先】
SRI ｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ ﾋﾞｼﾞﾈｽｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝｽ
高内章　電話:03-3222-6503
m@il: atakauchi@sric-bi.com